

# 平成30年度 木祖小学校グランドデザイン

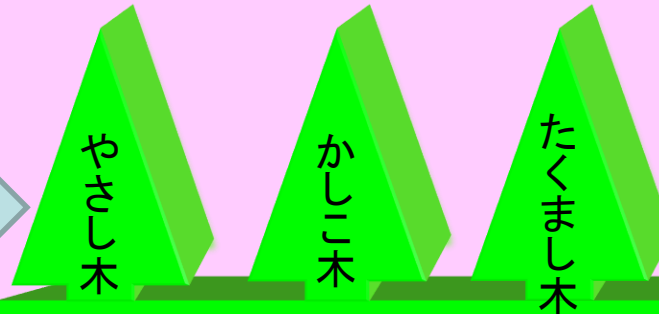


<羽ばたき>



<友愛の絆>

## 《本校の教育目標》 子どもが喜んで登校する学校づくりのために



三つの木を大きく豊かな木に育てよう

人と交わって得る智	学んで得る智	自らの体験によって得る智
-----------	--------	--------------

### 【めざす子どもの姿】よく学び、よく遊ぶ

- ①学校、地域で明るい「あいさつ」を自分からできる子(やさし木)
- ②自分の考えをもち、意見や考えをしっかりと発信できる子  
(かしこ木・たくまし木)
- ③友だちの意見や考えを取り入れ、自分の考えを高めていくことのできる子(かしこ木)
- ④広い校庭・体育館・校内でのびのびと遊ぶ子、毎日しっかりと体を動かす子(たくまし木)
- ⑤学級のため、人のために役立とうとする子、困っている人を助けられる子(やさし木)

学力向上の  
基盤づくり

## □わかる・楽しい授業

～学力向上プラン～

### ☆授業改善の継続

- 3観点(課題の板書・充実した思考・振り返りの記録)
- 学習環境や授業のユニバーサルデザイン化(すべての子が取り組める学習)
- 少人数対話型学習の充実

### ☆学習内容の確実な定着

- 「かしこ木の時間」を活用した基礎学力の定着
- 家庭学習充実のための取り組み・「家庭学習の手引き」を活用した家庭との連携(保護者のサインによる見とどけ)

### ☆学力向上の基盤となる取り組み

- 学習規律の確立
- 諸学力検査の結果をふまえた指導(全国学テ、NRT)

### ☆教員の指導力向上に向けた研修

#### ●重点研究

～自らの考えを持ち、ともに学びあいながら学習の楽しさを実感できる児童へ～

## □体力の向上

### ●たくましきタイム

朝のマラソンの継続  
児童会運動委員会主体の体力づくり  
スポーツの楽しさを学ぶ活動

## □居場所、楽しみ、存在感、自己肯定感を育てる学級づくり

- ・どの子どもも安心できる学級(Q-Uなどの活用)
- ・ソーシャルスキルトレーニングの積み重ね  
聞き方、伝え方、関わりのスキルアップ
- ・声のものとさしの継続 ・場に応じた言葉
- ・よさを見つけ伝え合う場づくりの継続
- ・メリハリのある生活

## □木祖っ子活動 ～異年齢集団での交流活動～

社会力、意欲、自尊感情を育てる場

- 思いやり、支え合いを学ぶ
- 役割の自覚と責任感を育てる
- 伝え合い、関わり合う力を培う
- ・木祖っ子班での活動・・・木祖っ子祭り、花壇づくり、集団遊び  
全校運動、全校音楽、灯籠作り
- ・木祖っ子班以外での活動・・・姉妹学級、他学年との共同活動
- ・とちのみ保育園との交流

## □地域に開かれた学校

～ヒト・コト・モノとかかわりながら  
木祖村の良さを学ぶ～

※木祖型コミュニティ・スクールの充実

### ○地域に根ざした学習活動

自律性、創造性、協調性を育てる  
生活科、総合的な学習の時間  
地域の知恵、技、心を学ぶ体験的活動  
サニーヒルとの交流、アイ愛メール  
学校周辺・地域調べ、伝統産業調べ  
地域社会見学(公共施設、郷土館、役場  
SL公園、神社仏閣、地域の企業など)  
郷土食づくり、花壇づくり  
源流夏祭りへの協力(灯籠作り)

### ○地域の方の授業・行事サポート

授業、地域社会見学、遠足サポート、  
マラソン大会サポート、花づくりサポート

### 学校を支える地域の活動

<充実した社会教育・社会体育>

- ・すくすく倶楽部 ・源流トラッククラブ
- ・木曾川上下流交流 ・スキークラブ
- ・社会体育(卓球、野球、フットサル、剣道  
バスケットボール、ソフトボール、卓球等)

<PTAとの連携>

- ・PTA親子作業 ・資源回収
- ・デイサービス親子交流
- ・PTA小中合同研修